

# Urban Design Lab. Magazine



編集長：蛭灰谷愛  
編集委員：平岡惟 増田圭輔 矢原有理 ジャック・ファリス  
菊地原徹郎 中島和也 藤井高広

## デザ研に秋の新メンバー来る!! —博士1名、研究生2名の計3名—

text\_fujii

10月入学の新入生3名が都市デザイン研究室に加わりました。ルーマニア、中国、日本と出身地はバラバラ。ますます国際化の進む研究室となりそうです。それでは、早速皆さんのプロフィールや意気込みを紹介します。

ミレイ チャピ  
(Tchapi Mireille)



- Docoral course
1. Bucarest, Roumania
  2. Travels / Karate, tea ceremony, violin, etc
  3. Paris (But I still need to discover more countries to be able to give a better answer.)
  4. To be honest with myself and the others and enough strong to follow my way .
  5. I wish I won't loose myself in my research, and want to participate in various activities together.

傅 舒蘭  
(Fu Shulan)



- Research student
1. Hangzhou, China
  2. Watching movies / Swimming
  3. Hangzhou
  4. I want to enjoy life, every minutes of it.
  5. I want to learn about Urban planning, which may help me to consider things on a larger scale, and to deep my knowledge of Conservation.

高橋 邦昭  
(Takahashi Kuniaki)



- Research student
1. Ibaraki, Japan
  2. Reading, Drinking / Soccer
  3. Sawara
  4. Treasure every encounter, for it will never recur.
  5. I want to treasures every encounter, and to grope for the solution of the urban planning from these encounters.

1. 出身地  
2. 趣味 / 特技  
3. 好きなまち  
4. 座右の銘  
5. 研究室生活に向けての意気込み



▶ 乾杯の音頭をとる西村先生

## 盛り上りを見せた歓迎会

研究室会議後、14号館10階屋上にて新入生歓迎会がバーベキュー形式で行なわれました。M1にとっては初の研究室バーベキュー、さらには、研究室会議後の開放感から、歓迎会は大いに盛り上がりました。新メンバーの皆さんに、研究室の雰囲気存分に味わってもらえたのではないのでしょうか。

最後にM1の皆さん、バーベキューの準備お疲れさまでした。



▶ 程よく(?) 酔っばらっている野原, 中島助教



## 2008年度 第9回研究室会議

10月21日、第9回研究室会議が行なわれました。博士課程に10月入学したミレイ・チャピさんの自己紹介の後、6名のM2が発表しました。

- M2 大道 亮：「2001年以降の都市計画道路の見直しの全国的な動向に関する研究(仮)」
- M2 パンノイナツポン：「歴史的町並みを活かしたまちづくりプロセスと運営主体(仮)に関する研究—千葉県香取市佐原地区を事例として—」
- M2 平岡 惟：「景観ガイドブックの効果に関する研究—新宿区榎地区を対象として—」
- M2 増田 圭輔：「NPOバンクのまちづくり活動への融資制度に関する研究」
- M2 矢原 有理：「多主体の協同による商業集積地の保全に向けた考察(仮)—東京都新宿区神楽坂地区を対象として—」
- M2 山田 渚：「『都市型船付家屋集落』における、住まい方と空間構造の研究—子安浜を対象として—」

## バンコクフォーラム交流会—各プロジェクト充実した意見交換—

text\_fujii



▲ 日本語-タイ語の同時通訳で大活躍のナツポンさん

バンコクフォーラムの方々と交流会が、10月20日行なわれました。当研究室からは3つのプロジェクト(高山、鞆、新宿)について発表しました。各プレゼンの発表時間はなんと30分! 各プロジェクトの細かな説明により充実した意見交換をすることができました。

バンコクの方々からは、資金、提案することによる効果、住民との関わり方等についての質問が多く、国は違えど、まちづくりの課題や問題点に違いはないということを知ることができました。

また、まちづくりを持続していくための熱意や環境、粘り強さが大事であると再認識できる、意義深い交流会となりました。

# 高山PJ、まちぎやら大盛況!! -八幡祭りと合わせて開催-

M1 竹本 千里

去年の11月から続けてきた高山PJの調査内容や提案を、地元の方に知ってもらうため、「まちなみぎやらりー」略して「まちぎやら」という展示会を催しました。会場は、重要文化財である宮地家で、八幡祭りの日に合わせて行いました。



多くの地元の方が見に来てくださり、特に街並みの模型が好評でした。観光客の方も、「越中街道を見に来たついでに」とたくさんの人にお越しいただき、非常に充実した展示会となりました。また、開催中の宣伝が功を奏したのか、新聞、ラジオといったメディアもまちぎやらを訪れ、インタビューそして、ラジオの生放送への参加(M2大道)という嬉しいハプニングもありました。



▲ 朝日新聞(2008年10月20日)



▲ 高山市民時報(2008年10月10日)

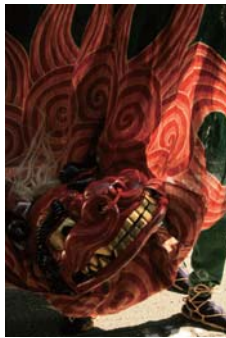


▲ まちぎやら展示会場一宮地家一

また、八幡祭りの調査もしました。からくり奉納や屋台の曳き回し、行列など見応えのあるイベントが盛りだくさんで、一日中歩き回っていた気がします。個人的には行列の獅子舞踊りがとても印象的でした。



▲ 屋台の曳き回し



▲ 獅子舞踊り



▲ 行列と提灯



▲ 半間ルールの展示

# 足助祭りに圧倒!! -新たな魅力の発見へ-

M1 六田 康裕

10月11、12日の日程で行われたお祭りに合わせ、足助に行ってきました!

11日の午前中に組み立てられ、「おっさ、おっさ(「御祭」が訛ったもの)」の掛け声に合わせて、引き回しの間休みなく人が踊り、音を奏でる山車は賑やかで、活気にあふれていました。11日の夜を徹しての山車の番に顔を出した際に、足助に関わるようになって初めて、同年代の人たちからの足助への思いを聞くことができたのも、大きな収穫でした。

また、足助八幡宮や各町の発砲所では火縄銃の発砲も行われ、写真を撮るのもままならないほどの大きな音に圧倒されました。

足助最大のイベントに触れ、さまざまな人たちと話す中で、足助の文化・気性への理解がより深まったように思います。



▲ 屋台の曳き回し



▲ 火縄銃の発砲

## 編集後記

text\_fujii

10月27日午前1時10分。静かな研究室です。誰もいません。そうです。みんな研究室旅行でマレーシアです!...ということこんな時間は家で寝るべきなのでしょう。ところで今回のマガジン、高山プロジェクトをピックアップしすぎた気がします。でも自分が関わっているプロジェクトだから許して下さい。載せたいのです。皆さんも「これだけは載せて!」といった記事、写真、思いなどがあれば是非是非お伝え下さい!お載せします。ただ、高山記事があった号は……ごめんなさい。

## 都市デザイン研究室 11月の予定

11月 8日-9日 都市計画学会@北海道(鞆PJ)  
11月14日-15日 足助現地調査  
11月20日 第10回研究会会議